



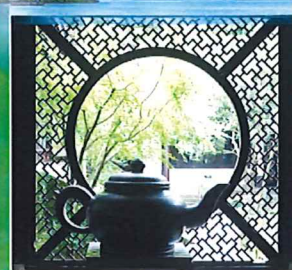
# 日中青年代表交流 2019

～日中共にさらなる高みを目指して～

主催・実施

静岡県教育委員会

日中青年代表交流実行委員会



## 主催者挨拶

### 日本と中国の友好・交流の架け橋に

静岡県教育委員会 教育長 木苗 直秀



日中青年代表交流は、静岡県教育委員会と中国浙江省青年連合会が、両県省の発展を担う青年の友好交流を目的として、平成21年に締結した「青年友好交流に関する協定書」に基づく交流事業です。平成23年度から毎年実施しており、今までに両県省合わせて400人以上の青年が参加しています。

本交流では、静岡県と浙江省の青年がそれぞれの国を訪問し、ホームステイや企業・学校等の視察を通じて、お互いの魅力に触れ、報道だけではない現状を知ることによって、相手国への理解を深めています。

また、異なる価値観、考え方に触れることで、学ぶべきことを発見するとともに、自国の良さを再認識するなど、視野を広げる機会となっています。

日本と中国が、相互に学び合う交流を続けていくことは、両国の協力関係の発展に大変意義のあることと考えています。参加した時の想いを忘れずに、未永く交流を続けていただきたいと思います。

結びに、本交流の実施にあたり、御尽力いただきました両国の実行委員会の皆様をはじめ、中国浙江省及び上海の関係者の皆様、青年たちの参加に御理解を頂きました企業、団体、学校及び市町関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

## 実行委員会会長挨拶

### 日中友好の輪の広がり

会長 栗原 績（静岡県日中友好協議会理事長）



日中青年代表交流では、静岡県と浙江省の青年が相互に相手国を訪問しています。日中双方の関係者の尽力により、9年間、途切れることなく交流を継続してきました。

両県省での現地交流においては、企業・学校等の視察、ホームステイ等の様々な活動を通して、それぞれの文化や考え方の違いを知るとともに、自らについて考える機会となっています。特に、ホームステイでは、青年同士がお互いの日常を知り、時間を共有することにより、国を超えた深い友情を育んでいます。

また、今年度、浙江省で開かれた歓迎レセプションには、過去に参加した静岡県青年も参加しました。久しぶりに浙江省青年と再会し、友情を深める姿は、参加した時だけでは終わらない、将来にわたる広がりのある事業になっていると感じさせました。

日本と中国の両政府は、2019年の「日中青少年交流推進年」の成功を確認するとともに、2020年を「日中文化・スポーツ交流推進年」として、スポーツを含む、人的・文化交流を一層推進していくとしています。本県においても、両県省の青年同士はもちろんのこと、県内の異業種の青年同士、更には、年度を超えた参加者や通訳等、交流の輪がより一層広がることを期待しています。

最後に、今回の新型コロナウイルスによる肺炎は浙江省をはじめ中国各地に大きな被害をもたらしています。これに対して、浙江省関係者の皆様に心より御見舞い申し上げます。

## 参加者代表挨拶

### 素敵な経験、出逢いに感謝！！

ほんよう  
朋友会（交流既参加者組織） 令和元年度代表 河村 智可



今年度5月に平成から令和に元号が変わり、令和初の「日中青年代表交流」に参加させていただき、ありがとうございます。

この研修では、杭州、上海のことをもっと深く知ることができるいい機会だと思い、また、ホームステイを行うという企画に魅力を感じ、参加させていただきました。

実際現地を訪れて、色々な企業を視察し、中国の技術の高さに圧倒されました。ホームステイの心温まるおもてなしは、とても嬉しかったです。これからもずっと繋がっていきたいと思っています。素敵な出会いに感謝です。そして、これからもこの事業に携わらせていただけることに喜びを感じております。ありがとうございます。

## 浙江省青年連合会挨拶

青年は国家の希望と未来

浙江省青年連合会 主席 王慧琳



尊敬する栗原団長、日本・静岡県青年代表団の皆様、尊敬する御来賓の皆様、こんばんは。

まず、私はここに浙江省青年連合会の1400万の浙江省青年を代表しまして、今回の友好訪問の開催にあたり熱烈にお祝いのお意を表するとともに、静岡県青年の御来訪に対して心からの歓迎の意を込めて、挨拶を述べさせていただきます。

今年は、浙江省と静岡県の友好提携樹立37周年です。37年間両省県は、政治、経済、技術、文化などの分野で多彩な交流と教育事業を展開してきました。各分野における交流は、高いレベルでの発展の様相を呈しています。

青年は国家の希望と未来で、我が両省県はかねてから青年の交流を重視してきました。2001年から毎年、静岡県は、活躍している青年の代表団を結成して、浙江省に派遣してきました。

2009年に私たちは初めて日中友好代表団を静岡県に派遣しました。また、訪問の間に浙江省青年連合会と静岡県教育委員会は、友好交流を展開する協定書を締結しました。その後、毎年、各分野・各団体から優秀な青年代表を選抜、精選し、日中友好代表団を組んで日本・静岡県に行き交流を行うことになりました。今年までに615人の中国の青年との交流を実現しました。その青年の中には、親しく付き合い、良い友人になった方もいらっしゃいますし、個人的な相互交流をされた方、学校間の友好提携の樹立に貢献された方もいらっしゃいます。他にも、友好訪問後、浙江省に来て留学をした方も何人もいらっしゃいます。

例えば、2016年の団員の津田直子さんは、中国に深い興味を持つようになり、仕事を辞めて、浙江大学に中国語を学びに来ました。

また、今回の宴会の席で、私たちは矢崎雅人さん、石川純也さん、鈴木正彦さん、小野田朋弘さんに再度お目にかかり、本当に嬉しく思います。先ほど御紹介した皆様は、今回、旧友と会うために、ここに来られました。これは、浙江省と静岡県、両青年の友好が深まっている良い縮図だと思います。

数日前から、栗原団長は、静岡県青年代表団を率いて再び我が浙江省を訪問されました。ホームステイと一連の視察を経て、中日青年の間に深い絆を築きました。浙江省と静岡県の青年の間で、継続かつ友好的な往来が促進されることを確信しております。

私は、日本の方々が、商業、留学、観光旅行のために、浙江省を訪問されることを心から歓迎いたします。浙江省青年連合会と静岡県教育委員会の協力関係を一層強化し、努力して相互交流の窓口と架け橋を築き上げることを、責任を持って行っていきましょう。良い結果になることを切望しております。

また、私は、中日両国の青年が手を携えて協力し、努力すれば、中日友好はきっと代々受け継がれ、中日両国がより親しくなるものと確信しております。

最後に、日本・静岡県青年代表団の方々が、浙江省滞在中、楽しく過ごされ、また、健康であることを祈念して、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

[ 令和元年8月11日開催 浙江省交流 歓迎レセプションにて ]

## — CONTENTS —

I 事業概要	3	VI 広がる交流の輪	16
II 新聞掲載記事	4	VII 日中交流架け橋プラン	17
III セミナー	5	VIII 令和元年度関係者名簿	19
IV 浙江省交流	7		
V 静岡県交流	13		

# I 事業概要

## 1 目的

静岡県内の経済、産業、教育、行政など各分野の青年代表が、中国浙江省の青年との交流を通して、相互理解と信頼関係を深め、人脈形成や情報交換等を行い、参加後、継続的に日中交流に関わることにより、発展的な協力関係を築く。

## 2 概要

(1) 参加条件 中国との交流に関心があり、日中の友好交流の促進や相互発展への取組に参加する意志のある県内の20代から40代までの青年。

(2) 参加者数 静岡県青年 26人  
 浙江省青年 浙江省交流 18人 / 静岡県交流 24人

[内訳] 性別 (人)

静岡県青年		浙江省青年			
		浙江省交流		静岡県交流	
男	女	男	女	男	女
12	14	11	7	14	10

所属先 (人)

	静岡県青年		浙江省青年	
	浙江省交流	静岡県交流	浙江省交流	静岡県交流
企業	7	6	6	8
団体	2	5	5	8
教育	13	3	3	5
行政	4	4	4	3

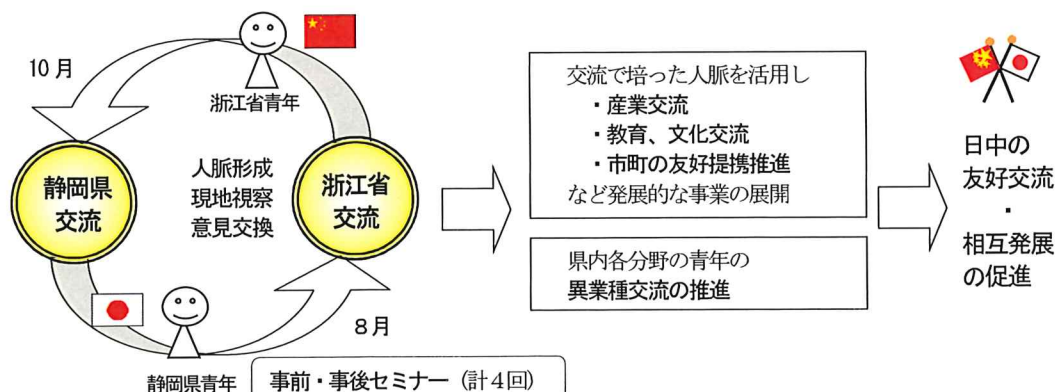
## (3) 内容・日程

交流・セミナー	開催月日	会場	内容
第1回セミナー	6/29 (土)	県庁	開講式、オリエンテーション、中国語講座等
第2回セミナー	7/27 (土)	県庁	中国事情講座、浙江省交流ガイダンス等
浙江省交流	8/7 (水) ~16 (金) 〔9泊10日〕※	中国 浙江省 上海市	【静岡県青年 ⇒ 浙江省、上海市】 ホームステイ、歓迎レセプション、現地学校視察、 現地・日系企業等視察、杭州・上海市内視察等
第3回セミナー	9/14 (土)	県庁	浙江省交流報告会、中国語講座等
静岡県交流	10/25 (金) ~28 (月)	県内	【浙江省青年 ⇒ 静岡県】 歓迎レセプション、青年意見交換会、ホームステイ、 静岡県内視察等
第4回セミナー	12/14 (土)	d-labo	交流報告会、閉講式

※浙江省交流は、当初8/7 (水) ~ 8/14 (水) の予定だったが、台風10号の影響により、搭乗予定の航空機が欠航となったため、帰国が8/16 (金) に延期された。

(4) 参加費 15万円 (ただし、セミナー・交流参加に伴う集合場所までの交通費、食費、パスポート取得料、海外旅行保険料他、個人的経費は含まない)

(5) その他 本交流に参加した公立学校教員は、中堅教諭等資質向上研修の「社会体験研修」を実施したものとみなされる。



## II 新聞掲載記事

令和元年10月27日(日) 静岡新聞・朝刊



活発に意見交換する本県と浙江省の青年たち  
=26日午後、島田市内

### 浙江省の青年と交流 教育や仕事、相互理解深める

島田

県教委の相互交流事代表団が26日、島田で中国浙江省から来市を訪れ、本県の教員や自治体職員、経済団

体関係者らでつくる青年団25人と意見交換しながら交流を深めた。訪れたのは浙江省青年連合会主席の王慧琳さんを団長とする29人。意見交換会ではグループごとに「教育と人工知能(AI)、仕事」「日本と中国のワークライフバランス」などテーマを掲げてお互いの国の現状を紹介し合った。余暇の過ごし方、育児への関わり方などの話題でも活発に意見交換した。

浜松湖南高教諭の杉山詩織さん(26)は「新人教育について話し、

国は違っても同じ気持ちで取り組んでいると分かった」と話した。王団長は「静岡の文化や経済を知ることが、28日まで滞在して県内各地を視察する。」

令和元年12月15日(日) 静岡新聞・朝刊



訪問の成果を発表した報告会  
=14日午後、静岡市葵区呉服町

### 浙江省との 交流を報告

本県の青年代表

本県と中国浙江省の日中青年代表交流(県教委、実行委主催)の報告会と閉講式が14日、静岡市葵区で開かれた。中国を訪れた参加者が交流の成果などを報告した。

交流事業には20、40代の会社員や教員ら26人が参加し、8月に9泊10日の日程でITや物流関係の企業に足を運び、教育現場なども視察。参加者は訪問を通じて得た自身の見解を深めている。

交流は9回目の事業で、県教委によると、これまでの本県と同省の計400人ほどが友好を深めている。

を一人ずつ発表するとともに、「交流架け橋プラン」を披露した。人工知能(AI)の発達について高校教員は「これからは生身の人間にしかできない創造的な仕事が必要視される」と主張。民間企業の参加者からは異文化理解について「相手をすることも大事だが、自分の考えを伝えなければ相互理解にはつながらない」と、積極的なコミュニケーションを訴える声が上がった。

これらの記事は、静岡新聞社の承諾を得て転載しています。

### III セミナー

#### 第1回 セミナー 開講式

- 1 開講式
  - ・主催者挨拶 静岡県教育委員会 鈴木 一吉 教育部長
  - ・日中青年代表交流実行委員会会長挨拶 栗原 績 会長
- 2 オリエンテーション
  - 事業説明／昨年度の交流報告（池谷委員、上村委員、望月委員）
- 3 グループワーク 1 仲間づくり ①
  - アイスブレイキング／自己紹介／役割決定
- 4 講義「14億の民が暮らす 激流中国」
  - 講師 高林 久記 氏（静岡県日中友好協議会事務局長）
- 5 グループワーク 2 浙江省交流準備 ②
  - グループワーキング計画作成
- 6 中国語講座（挨拶、自己紹介） ③
  - 講師 王春華 氏、金冬致 氏、胡磊 氏、李重楼 氏、  
王騫 氏、劉俊薇 氏



#### 第2回 セミナー

- 1 浙江省ガイドンス
  - 交流日程、準備等の確認／渡航ガイドンス
- 2 グループワーク ④ ⑤
  - 浙江省交流グループワーキングのテーマ設定／コースプラン作成
- 3 講義「ネットワーク論で考える地域のつながり」 ⑥
  - 講師 濱下 武志 氏  
（静岡県立大学グローバル地域センターセンター長）
- 4 浙江省交流レセプション準備 ⑦



## 第3回 セミナー

- 1 浙江省交流報告会 ⑧ ⑨
  - ・グループワーキング報告
  - ・班別協議（浙江省交流後の意識や行動の変化）
- 2 静岡県交流ガイダンス
  - 日程、研修内容説明
- 3 グループワーク
  - ・「青年意見交換会」テーマ及び役割決定
  - ・ホームステイ受入に関する情報交換・打合せ
- 4 中国語講座（ホームステイ受入で使える表現） ⑩
  - 講師 王春華 氏、金冬致 氏、馬治城 氏、叢潔 氏、張海鳳 氏、劉俊薇 氏
- 5 静岡県交流レセプション準備 ⑪



## 第4回 セミナー 閉講式

- 1 交流報告会 ⑫ ⑬
- 2 直接話を聞いてみよう（参加者への質問） ⑭ ⑮
- 3 閉講式
  - ・主催者挨拶 静岡県教育委員会 松井 和子 教育監
  - ・日中青年代表交流実行委員会会長挨拶 栗原 績 会長
  - ・実行委員からのメッセージ



# IV 浙江省交流

新たな友との出会い

## 目的

静岡県内の各分野の青年代表が、中国浙江省の青年代表や両県省の交流関係者、上海駐在邦人等との交流を通して、相互理解と信頼関係を深め、人脈形成や情報交換等を行うとともに、中国の経済、社会、文化等について理解を深める。

## DAY 1



### 1 出発式（富士山静岡空港）

富士山静岡空港内で行われた出発式。  
栗原団長の挨拶で本交流が始まりました。



## DAY 2

### 2 東芝開利空調有限公司／日系企業視察

浙江省の杭州経済開発区内で「業務用空調機器の開発・製造」を行う会社です。  
会社概要の説明を伺ったのち、工場内を見学しました。その後、5つのグループで中国人若手従業員の方々と50分間にわたり日本語で意見交換をしました。中国での働き方について、理解を深める機会となりました。





## 日程表

月日		時間	行程	宿泊
DAY 1	8/7 (水)	11:20 13:40 15:55	富士山静岡空港 集合・出発式 富士山静岡空港 出発 (MU2026 便) 杭州蕭山空港 到着	杭州国際暇日酒店 (杭州市)
DAY 2	8/8 (木)	午前 午後	日系企業研修 / 東芝開利空調有限公司 現地企業研修 / 蕭山空港物流会社	
DAY 3	8/9 (金)	午前 午後	現地企業研修 / 科大訊飛、微医 コース別研修 / 企業 (方回春堂)・学校 (浙江音楽学院) 商業施設研修 / 龍湖・濱江天街ショッピングセンター	
DAY 4	8/10 (土)	午前 午後	杭州グループワーキング ※台風9号の影響により、ショッピングセンター見学に変更 対面式・ホームステイ	ホームステイ先
DAY 5	8/11 (日)	終日	ホームステイ 歓迎レセプション 18:00~	杭州国際暇日酒店 (杭州市)
DAY 6	8/12 (月)	午前 午後	現地企業研修 / 阿里巴巴集団 バス移動 浙江省→上海市 上海夕食交流会	上海吉臣酒店 (上海市)
DAY 7	8/13 (火)	終日	上海グループワーキング	
DAY8・9	8/14.15 (水.木)	終日	※台風10号の影響により、搭乗予定の航空機が欠航となったため、帰国日を8/14から8/16に変更	
DAY10	8/16 (金)	11:15 14:45 15:30	上海浦東空港 出発 (MU2019 便) 富士山静岡空港 到着 到着式・解散	

### 3 蕭山空港物流会社 / 現地企業視察

杭州蕭山空港周辺にある2つの物流会社を見学しました。「佳成国際」では、AIを利用した仕分け作業の様子を、「順丰速伝」では、飛行機からトラックへ、トラックからトラックへの機械を利用した大規模な自動仕分設備を見学しました。



## DAY 3

### 4 科大訊飛 (IFLYTEK) ・微医 (We Doctor) / 現地企業視察

音声認識・識別・合成の分野で世界トップレベルの技術を持ち、教育・医療分野等にソフトを提供する「科大訊飛」、オンライン医療サービスを提供する「微医」の2社を見学しました。中国はスマホ決済が浸透しているのは有名な話ですが、教育・医療の分野においても高い技術が開発されていることに、参加者一同驚きました。



## DAY 4

### 6 ホームステイ対面式・ホームステイ

ホームステイ対面式では、日中のペアが隣り合い、着席しました。栗原団長、中国側代表の顧問主席の挨拶の後、ペアごと記念撮影をし、ホームステイに出発しました。ペアの方と一緒に過ごすことで、友情を深めました。



## 5 方回春堂（現地企業）・浙江音楽学院（現地学校）／コース別研修

参加者の関心ごとにコース（現地企業・現地学校）を選び、訪問しました。



### 方回春堂

1649年創業の老舗の漢方薬局。中国と日本の漢方の「位置づけ」は異なり、中国では漢方医と呼ばれる専門の医師がいること、処方している漢方薬の効能や製造方法などの説明を受けました。



### 浙江音楽学院

中国で10番目に開校した音楽学院。学内には、大ホールが3、練習ホールが10、個人レッスン室が900と恵まれた環境が整えられていました。今回は、舞踊科の学生さんの演技を鑑賞させていただきました。



## DAY 5

## 7 歓迎レセプション

浙江省青年連合会、浙江省人民政府外事弁公室主催のレセプションに出席しました。両県省の記念品交換や余興、ホームステイペアとの歓談など、人とのつながりを感じる、心温まる時間になりました。



## DAY 6



### 8 阿里巴巴集团（アリババ集团）／現地企業視察

アリババグループは、世界最大の流通総額を誇るオンラインモバイルコマースカンパニーです。電子商取引、クラウド事業など、世界を相手に展開している事業についての説明を伺い、常に次の事業展開を生み出す社風に触れる機会となりました。アリババグループが手掛ける次世代スーパー「盒馬鮮生」にも立ち寄り、キャッシュレス化の進む中国を実感しました。



## DAY 7

### 10 上海グループワーキング

5つの班ごとにテーマ、コースを設定して上海市内を散策しました。



**1班** 東方明珠電子塔→豫園→田子坊→南京東路→上海夜景（外灘）



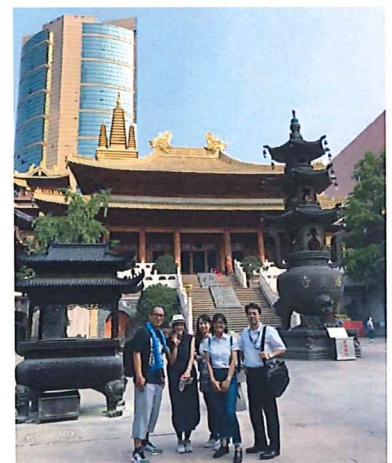
**5班** 上海孫中山故居記念館→豫園→上海タワー→中国雑技団



**2班** 田子坊→ディズニーストア→豫園→外灘



**3班** 南京西路→人民公園→豫園→外灘



**4班** 静安寺→水郷→豫園→ナイトクルーズ

## 9 上海交流夕食会

上海で活躍する9人の方々をお迎えしました。情報交換を行うとともに、現地で生活する方のお話を伺うことで、中国に対する理解を深めることができました。



### 出席者

- 石井 亘 (静岡県上海事務所 所長)
- 市川慧悟 (上海東方天野国際貨運代理有限公司)
- 市毛勝二郎 (上海 JTB 国際旅行社有限公司 担当課長)
- 大石 敏 (静岡銀行上海駐在員事務所 所長)
- 内藤康介 (上海日本人学校浦東校 教諭)
- 日吉一也 (上海日本人学校虹橋校 教諭)
- 藤井稚己 (深圳市宣威実業有限公司 上海分公司)
- 村瀬栄治 (愛知大学上海交流センター 所長)
- 山田尚道 (味研貿易(上海)有限公司 副総経理)



## DAY10

## 11 到着式 (富士山静岡空港)



富士山静岡空港内で行われた到着式。台風の影響により、帰国日が2日遅くなりましたが、栗原団長、山下副団長の挨拶をもって。無事、交流を終えることができました。



### 交流参加者の声 ( 浙江省交流事後アンケートより )

#### 中国について感じたこと

- 客人を心の限りもてなす姿勢に、これまで中国人に対して抱いていたイメージがすっかり変わりました。
- やはり個人的な旅行では入れない所まで見学できる所が良い点だと思います。現地企業の人たちが何を考え、地域の中でどういう立ち位置にいるのか知ることが出来るので、貴重な体験になると思います。
- 中国の技術の高さに驚かされました。特に、科大訊飛や阿里巴巴集团のような世界トップクラスの企業を視察できることの意義は大きいと思います。

#### 交流に参加して

- 言葉が不完全でも、互いに理解しようという気持ちがあれば通じ合うことが可能であると感じました。
- 県内の広い地域、様々な職種、幅広い年齢の方と知り合い、自分の考えを広げることができました。
- 異文化に触れ、自分の視野が広がりました。WeChatなどで、世界に友達が増えました。
- 実際に、中国の家庭に泊まることで、家庭料理や習わしを肌で感じる良い機会だと思いました。